

金城大学同窓会

《会報誌 第12号》 2018年12月発行号



《同窓会活動報告》

平成30年度役員会 開催報告

《平成30年度 交流パーティー 開催報告》

《各方面で活躍する同窓生》

《新任のご挨拶》

学長 前島 伸一郎

《大学行事報告》

平成29年度卒業証書・学位記授与式、平成30年度入学式、
新入生歓迎会、新入生研修、クラブ・同好会代表者研修会、
卒業研究発表会、第43回金城祭

《トピックス》

公開講座、ゆうがく広場／悠遊健康サークル、
北國健康生きがい支援事業、
第13回保健・医療・福祉創造フォーラム、

《同窓会 開催報告》

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況

同窓会活動報告

平成30年度役員会開催報告

《第1回役員会》

平成30年5月19日(土) 14時00分～15時10分

〔議題〕

前回役員会「平成30年3月28日(水)」議事録確認

1. 平成30年度役員会の改選

中野副会長から、平成30年度の役員改選について、会則第5条に基づき、平成30年3月31日で任期満了となつている中野副会長及び奇数卒業期生の委員に引き続き委嘱することの説明があった。また、新委員として15期生5名、新幹事として2名を会長より委嘱することの説明があり、いずれも全会一致で承認された。

なお、会計監事の園谷氏から、今後、会計監事を担っていくことが難しいと相談を受け、後任として「山谷聡美氏」の推薦を受けた。同窓会会則第5条2項に「会長は総会において選任し、副会長・会計監事及び幹事は委員の中から会長が委嘱する。」とあることから、本役員会で推薦の上、総会に決議をとりたいこと説明があり、全会一致で承認された。

2. 平成29年度事業報告・決算報告

町野幹事から、平成29年度事業報告・決算報告について、上田会計監事及び園谷会計監事による監査の結果、会計処理が適正であったこと説明があり、全会一致で承認された。

3. 平成30年度事業計画・予算

町野幹事から、平成30年度事業計画・予算について説明があり、平成30年度事業計画を基に予算が組まれ、平成30年度は次の項目について見直しを図りたい旨の説明があった。

- ・ホームページ制作費↓大学同窓会ホームページ立ち上げから大きくリニューアル等は無かつたため、卒業生からも分かりにくい等の声も上がっている。そのため、増額を図りたい。
- ・通信費↓卒業生数の増加及び、それに付随する送業務の代行件数の増加により予算の増加を図りたい。

- ・特別会計繰出金↓平成30年度は看護学部が完成年度を迎える。平成30年度自体は看護学部の卒業生への発送等はないため、平成30年度卒業予定の看護学部生の同窓会費分を特別会計繰出金へ回したい。

- ・学生活動支援助成金↓平成29年度は実績なし。学生活動支援助成金自体の規程や取り決めなど明確となつていないため、平成30年度は予算計上を行わない。

上記内容を踏まえ、全会一致で承認された。

4. 交流パーティー

平成30年度の交流パーティーについて、開催内容等に関して下記のとおり説明があった。

- ・交流パーティー案内チラシの発送は6月中旬予定。
 - ・平成30年度の実行委員は、主担当は11期生、副担当は12期生。
- 以上のことを踏まえ、全会一致で承認された。

《金城大学同窓会事業計画》

- 第1回大学同窓会役員会 5月19日(土)
- 平成30年度大学同窓会総会 10月20日(土)
- 平成30年度金城大学交流パーティー ANAホリデー・イン金沢スカイ 10月20日(土)
- 金城祭 10月20日(土)～21日(日)
- 第2回大学同窓会役員会 12月初旬
- 会報誌発行 12月下旬
- ゼミ代表者説明会及び役員選出 2月初旬
- 第3回大学同窓会役員会 3月中旬
- 交流パーティー計画
- 交流パーティー案内発送 6月初旬
- 交流パーティー実行委員会 6月～9月
- 交流パーティー案内・出欠確認発送 8月下旬
- 交流パーティー 10月20日(土)
- その他
- 金城大学学生支援協賛
- 同窓会活動助成

予算・決算 (平成29年度決算・平成30年度予算)

一般会計 (単位:円)		
	平成29年度決算	平成30年度予算
収入の部		
会費	4,580,000	7,000,000
利息	54	—
雑収入	96,000	100,300
前年度繰越金	3,020,707	2,495,293
合計	7,696,761	9,595,593

特別会計 (単位:円)		
	平成29年度決算	平成30年度予算
収入の部		
特別会計繰入金	1,000,000	2,000,000
利息	3,856	4,000
前年度繰越金	23,935,807	24,939,663
合計	24,939,663	26,943,663
支出の部		
予備費	—	26,943,663
合計	0	26,943,663

一般会計 (単位:円)		
	平成29年度決算	平成30年度予算
支出の部		
会議費	48,362	70,000
交通費	184,580	150,000
交流パーティー運営費	800,208	1,400,000
金城祭補助費	72,700	300,000
会報誌制作費	539,280	600,000
ホームページ制作費	129,600	150,000
名簿管理費	104,665	650,000
通信費	1,527,891	1,600,000
雑費	156,182	200,000
会費戻金	20,000	200,000
同期会開催助成金	118,000	500,000
事務費負担金	500,000	500,000
特別会計繰出金	1,000,000	2,000,000
学生活動支援助成金	0	—
予備費	0	1,275,593
合計	5,201,468	9,595,593

※【一般会計】(収入の部)合計7,696,761円-(支出の部)合計5,201,468円=2,495,293円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】(収入の部)合計24,939,663円-(支出の部)合計0円=24,939,663円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】繰入金(次年度繰越金)は、定期預金として管理する。

平成30年度 交流パーティー 開催報告

10月20日(土)に、ANAホリデイ・イン金沢スカイにて、「金城大学同窓会交流パーティー」が開催され、卒業生34人、教職員26人の出席がありました。
はじめに、中野雄介副会長(1期生)より日頃の同窓会運営へのご理解ご協力に対し、謝辞がありました。また、今年4月に就任された前島伸一郎学長からご挨拶をいただきました。中野副会長議長事進行的もと、役員会総会にて審議、承認された事項について中野副会長から報告が行われました。なお、会計監事については園谷準さん(1期生)から山谷聡美さん(4期生)に代わったことが報告されました。



中野雄介副会長



風船割りゲームでは、まず風船を膨らますのがひと苦勞



早食い競争でドーナツを頬張る参加者たち

引き続き、行われた交流パーティーでは、学校法人金城学園 加藤真二理事長からご挨拶、学校法人金城学園 加藤晃学園長から乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気でもまりました。旧友や恩師たちとの再会に、近況報告や思い出話に花が咲く中、実行委員を中心に企画された「平成最後の戦い」が行われました。ゲームの結果発表の際には景品の当選発表もあり、大きな歓声などが上がり、一緒に参加していた同窓生の子どもたちも笑顔あふれる素晴らしい企画となりました。最後に、記念として集合写真を撮影し、盛会のうちに終了しました。

平成30年度役員

会 長	濱田 陽介 (1期生)	副 会 長	中野 雄介 (1期生)	河合 直人 (8期生)		
会計監事	上田 良和 (1期生)	山谷 聡美 (4期生)				
委 員	内島 一憲 (1期生)	今村 裕子 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	園谷 準 (1期生)	赤津 慎太郎(2期生)	久田 緑 (2期生)
	寺井 紀裕 (2期生)	川口 雄幸 (3期生)	川嶋 玲子 (3期生)	田中 宏治 (3期生)	七野 澄麗 (3期生)	山下 和恵 (3期生)
	安土 貴子 (4期生)	今田 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)	赤木 由未子(4期生)	庄田 紋子 (4期生)	清水 敦子 (4期生)
	岩城 涼子 (5期生)	山崎 舞 (5期生)	越村 知恵 (5期生)	高橋 里枝 (5期生)	松下 早希 (5期生)	池上 実希 (5期生)
	辰田 沙弥香(5期生)	花井 友美 (6期生)	稲葉 文香 (6期生)	大久保 朋美(6期生)	早崎 久穂 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)
	西村 仁美 (6期生)	坂本 千夏子(6期生)	荒木 友希 (7期生)	土田 行美 (7期生)	成川 千絵 (7期生)	西川 美香 (7期生)
	鷹合 いつか(7期生)	澤田 竜之介(8期生)	西谷 彰紘 (8期生)	青木 由依 (8期生)	竹田 圭佑 (8期生)	鷺田 恵 (8期生)
	岩田 めぐみ(9期生)	北村 允人 (9期生)	剣村 祐依 (9期生)	藤川 彩 (9期生)	中佐 武尊 (9期生)	濱 星美 (9期生)
	藤川 諒也 (9期生)	田中 貴大 (10期生)	前田 静香 (10期生)	廣岡 恵莉香(10期生)	岩上 倫太郎(10期生)	橋本 千晶 (10期生)
	池田 光次郎(11期生)	櫛引 敏裕 (11期生)	谷内 奈津美(11期生)	三平 拓矢 (11期生)	村澤 卓朗 (11期生)	椎木 祐希 (12期生)
	山本 有佳里(12期生)	柏木 久夏 (12期生)	墨谷 沙紀 (12期生)	和田 卓也 (12期生)	東木 悠樹 (13期生)	吉藤 大貴 (13期生)
	青山 祥子 (13期生)	岡田 智成 (13期生)	中村 瑤 (13期生)	角出 遥 (14期生)	太田 圭一郎(14期生)	坂本 恭一 (14期生)
	前田 祐希 (14期生)	吉田 友稀乃(14期生)	嶋 穂乃花 (15期生)	畑谷 淳平 (15期生)	福田 優香 (15期生)	成 進二郎 (15期生)
	堀田 菜月 (15期生)					

幹 事 岡村 綾子、斎藤 修啓、小島 聖、犬丸 敏康、越納 美和、佐々井 誠、町野 圭亮、田中 千恵

各方面で活躍する同窓生

笑顔と聞く姿勢を大切に 日々成長を追い求めたい

地元高岡市の老人保健施設で支援相談員として働いています。主な役割は、入所希望者とご家族へヒアリングを受け入れの可否を判断するための情報を収集することです。地域の病院や居宅ケアマネージャーからの連絡後、面談の場を設けて「リハビリテーションをして自宅に帰りたいなどのご要望をうかがいます。退所にあたっては、リハビリテーション部をはじめとする施設スタッフや、外部のサービス事業所の職員など他職種と協働し、退所後の安全な環境と体制を整えることも大事な役目です。

このように、入所時と退所時に責任のある仕事を求められる支援相談員は、ある程度の実務経験が必要ですが、私自身の強い希望と職場の理解もあり、1年目から担当しています。時にコミュニケーションの難しさを感じつつも、大学での学びを福祉の現場で大いに役立てています。学習したこと以外では、先生から掛けられた言葉も私の支えとなっており、中でもゼミで指導していただいた岡村綾子先生からは、社会人として積極性や自信を持つことの大切さを教えていただきました。

今は、利用者さんやご家族、施設のスタッフなどさまざまな人と関わり、いろいろな考えを吸収することが仕事の楽しさとなっています。これからもコミュニケーションの潤滑油とも言える笑顔と聞く姿勢を意識し、より広い視野で福祉の仕事を考えてられるように成長を続けたいです。



北 諒人さん

【医療法人社団 正和会 介護老人保健施設きぼう】
社会福祉学部 社会福祉学科 平成27年度卒業 13期生



小学生の頃に抱いた夢を実現 楽しく仕事に向き合う

私は幼稚園の頃から高校までバトントワリングの選手をしていたのですが、疲労骨折など頻繁にケガをしていて、しばしば整形外科のお世話になりました。それで、小学校5年の時には「理学療法士になる」と決心し、金城大学への入学を目指して遊学館高校に進学。バトントワリング部の厳しい練習で培った強い精神力があったからこそ、理学療法学科の勉強にもついていけたのだと思います。

大学時代の一番の思い出は、楽しかったゼミの活動です。研究用の動物を飼っていたので、夏休みも毎日ゼミに通っていました。仲の良いメンバーたちとワイワイ・ガヤガヤ騒いでいたあの頃が懐かしいですね。私は国家試験の模試の成績があまりよくなかったのですが、ゼミの小島聖先生と仲間たちに支えられて無事、合格することができたのだと感謝しています。

当院の特徴として、整形外科の患者さんが多く、一日に何件もオペ（手術）があります。そうした急性期の患者さんのリハビリテーションのほか、外来患者さんのリハビリテーションを主に担当しています。症状の原因を考え、それに対する治療プログラムを作るのが本当に難しいです。それでも、自分が考えたプログラムで患者さんがよくなった時は、努力が実を結んだと実感できます。急性期・回復期の治療経験を重ねて、将来的には維持期の患者さんのリハビリテーションに携わりたいです。



土田 早希さん

【医療法人社団さくら会 森田病院】
医療健康学部 理学療法学科 平成29年度卒業 15期生



いろいろな経験を積み重ねて 訪問リハビリテーションにも携わりたい

小学生の頃、一緒に住んでいたお爺ちゃんが脳梗塞で倒れて、介護の手伝いをした経験から医療職に興味を持ちました。母が介護老人保健施設で栄養士の仕事をしていたのですが、私が中学・高校の時に、その施設の作業療法士の方からお話を聞く機会があり、この道を具体的に意識するようになりました。

大学時代を振り返ると、それまでとは全く違う専門的な科目の勉強が大変でした。特に、4年次の2カ月にもわたる臨床実習では、実際にプログラムを考えて治療にあたり、経過を診ながら対応していくのが難しかったです。その経験が今の仕事に活かされていると思います。

現在は急性期病棟で10人ほどの患者さんを担当しています。意識レベルが低く、言葉でのコミュニケーションが困難なケースもあり、バイタルサイン（脈拍、呼吸、体温、血圧など）のリスク管理に注意しながら治療を行っています。まだ一人で治療プログラムを考えるのは難しいところもあり、先輩方にアドバイスをもらうことも多いです。

全然動かなかった手足が、自分で動かせるようになった患者さんからの感謝の言葉をいただいた時には、大きなやりがいを感じます。これからも、患者さんやご家族の意見をしっかり聞いて、その目標に向けてアプローチできる作業療法士になれるよう、自分を磨いていきたいです。



堀田 菜月さん

【医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院】
医療健康学部 作業療法学科 平成29年度卒業 15期生



新任のご挨拶



学長 前島 伸一郎

私は昭和61年藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)医学部を卒業し、故郷の和歌山県立医科大学附属病院で臨床研修を行った後、リハビリテーション医学を専攻するため、母校の大学院に進み、平成4年大学院修了と同時にリハビリテーション科専門医となりました。この間、リウマチ骨関節疾患や切断、脊髄損傷、脳卒中など多くの患者さんの主治医となり、たくさんの方の勉強をさせていただきました。その後、米国ワシントン州立大学、豪州シドニー大学に留学し、急性期医療へのリハビリテーション介入や、地域リハビリテーションを経験いたしました。帰国後は、和歌山県立医科大学附属病院でリハビリテーション科の開設に従事し、平成16年より川崎医療福祉大学教授として、川崎医科大学附属川崎病院で臨床の傍ら、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのコメディカル育成のために教鞭をとってまいりました。平成19年からは埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科教授・診療科長・運営責任者として、急性期病院における臨床・研究・教育を実践してきました。平成25年より、藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション

医学Ⅱ講座の教授となり、わが国最先端のリハビリテーション医療を実践してまいりました。本年4月より金城大学学長に就任しました。本学を巣立って、社会でご活躍の卒業生の皆さまは、すでにご存知のことかと思いますが、わが国は世界に類をみないスピードで少子高齢化が進んでいます。厚生労働省は「地域包括ケアシステム」として、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、地域の包括的な支援サービス提供体制の構築を目指しております。すなわち、卒業生の皆さんが金城大学で学んだ医療・福祉の知識や技能が、様々な領域で必要とされてきているのです。大学の評判は学内で作られるのではなく、大学を卒業した皆さんの行動や振る舞いによって作られるものです。幸いなことに、私が着任して、知り合った人たちは皆、本学の卒業生を素晴らしいと褒めて下さることが多く、この地域での金城大学ブランドは確立されているものだと確信しました。この調子でいけば近い将来、本学の卒業生が全国の至る所で医療・福祉のリーダーとして活躍してくれるのではないかと期待しております。一方で、大学を卒業してから、仕事が忙しく、母校と疎遠になっている人も少なくないかと思えます。責任ある仕事を任されている人は、なおさらだと思えますが、金城大学という母校を誇りに思い、いつかまた時間が出来たら、大学の門を叩いてください。金城大学はいつでも卒業生の皆さんの故郷ですから。

平成30年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧



平成29年度 金城学園 財務概要

事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目		金額
教育活動収支	教育活動収入計	3,862,362
	教育活動支出計	3,672,352
	教育活動収支差額	190,010
教育活動外収支	教育活動外収入計	5,227
	教育活動外支出計	23,245
	教育活動外収支差額	-18,018
経常収支差額		171,992
特別収支	特別収入計	71,010
	特別支出計	863
	特別収支差額	70,147
基本金組入前当年度収支差額		242,139
基本金組入額合計		-238,790
当年度収支差額		3,349

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		金額
固定資産		10,230,066
有形固定資産		9,635,818
特定資産		510,583
その他の固定資産		83,665
流動資産		2,581,134
資産の部(合計)		12,811,200
負債の部		金額
固定負債		1,814,928
流動負債		726,335
負債の部(合計)		2,541,263
純資産の部		金額
基本金		14,090,723
繰越収支差額		-3,820,786
純資産の部(合計)		10,269,937
負債及び純資産の部(合計)		12,811,200

※ 詳しくは、金城学園ホームページ(<http://www.kinjo.ac.jp/>)をご覧ください。

平成29年度 卒業生の進路結果 (平成30年5月1日現在)

社会福祉学部

社会福祉専攻

職種別	人数	職種別	人数	職種別	人数
介護職	33人	保育士	1人	製造技術職	2人
支援員	7人	営業職	9人	教員	2人
相談員	3人	販売職	11人	看護助手	1人
指導員	2人	事務職	11人	その他	1人
医療ソーシャルワーカー	3人	接客	1人		
			計	87人	

医療福祉施設・教育認定子ども園	人数	教員・公務員	人数
高齢者施設	26人	教員	2人
障害者(児)施設	10人	公務員	1人
児童施設	1人	計	3人
社会福祉協議会	1人		
病院	6人	進学その他	
高等学校	1人	専門学校	1人
認定子ども園	1人	その他	1人
計	46人	計	2人

企業	人数	企業	人数
医療・福祉	10人	製造業	2人
卸売・小売業	12人	不動産業	1人
建設業	4人	複合サービス業	1人
宿泊飲食業	3人	情報通信業	1人
サービス業	4人	計	38人

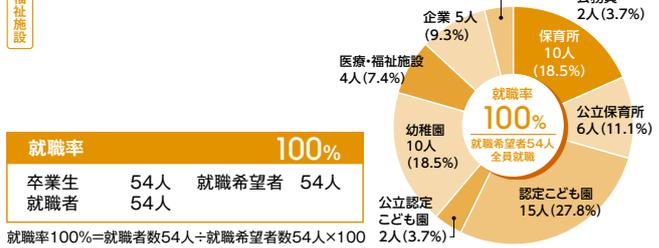


社会福祉学部

こども専攻

職種別	人数	職種別	人数	職種別	人数
保育士	18人	児童福祉専門員	1人	販売職	3人
幼稚園教諭	9人	支援員	2人	事務職	2人
保育教諭	18人	介護職	1人		
			計	54人	

保育所幼稚園認定子ども園医療福祉施設	人数	企業	人数
保育所	10人	保育	1人
幼稚園	10人	卸売・小売業	3人
認定子ども園	15人	情報通信業	1人
児童施設	1人	計	5人
障害者(児)施設	2人	教員・公務員	
高齢者福祉施設	1人	公立保育所	6人
計	39人	公立認定子ども園	2人
		公務員	2人
		計	10人

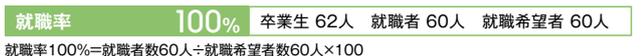


医療健康学部

理学療法学科

職種別	人数	職種別	人数
理学療法士	59人	通所・訪問リハビリテーション・	
公務員(消防員)	1人	デイサービス	3人(5.0%)
計	60人	公務員	1人(1.7%)

医療福祉施設	人数	医療機関	人数
医療福祉施設	0人	医療機関	56人(93.3%)
医療機関	56人	通所・訪問リハビリテーション・	
通所・訪問リハビリテーション・	3人	デイサービス	3人
計	59人	計	59人
教員・公務員	0人	公務員(消防員)	1人
計	1人	計	1人

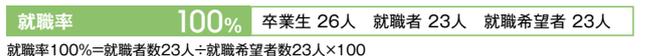


医療健康学部

作業療法学科

職種別	人数	職種別	人数
作業療法士	21人	老人保健施設	1人(4.35%)
介護職	1人	公務員	1人(4.35%)
公務員(消防員)	1人	計	23人

医療福祉施設	人数	医療機関	人数
医療福祉施設	0人	医療機関	21人
医療機関	21人	老人保健施設	1人
老人保健施設	1人	計	22人
教員・公務員	0人	公務員(消防員)	1人
計	1人	計	1人



大学行事報告

平成29年度卒業証書・学位記授与式 平成30年3月18日

平成30年3月18日(日)に平成29年度卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式が白山市鶴来総合文化会館クレインにて挙行されました。

社会福祉学部の卒業生149人、医療健康学部の卒業生88人、大学院リハビリテーション学研究科修士1人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真一理事長が告辞を、半谷静雄学長が式辞を述べました。続いて祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して西田早也香さんが答辞を述べました。

同日、会場を金沢東急ホテルに移し、卒業パーティーが盛大に行われました。



平成30年度入学式

平成30年4月1日



4月1日(日)に、入学式が白山市鶴来総合文化会館クレインにて挙行され、社会福祉学部141人(うち編入学生2人)、医療健康学部98人、看護学部90人、大学院総合リハビリテーション学研究科4人の総計333人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。

加藤真一理事長が告辞、前島伸一郎学長が「さまざまな人に支えられてここに自分がいるということをしつかり認識し、社会に恩返しができるよう勉強や経験を重ねて」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、医療健康学部の越野未奈子さんが「心豊かで社会に貢献できる人間になれるよう頑張りたい」と抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。

新入生歓迎会

平成30年4月7日

4月7日(土)に新入生歓迎会が開催されました。学友

会長の歓迎挨拶後に、ダンス部によるオープニング公演や在校生が企画した体験型ウォークラリー、クラブ・同好会による活動紹介、豪華景品を用意した大抽選会を行いました。盛大に開催され、新入生は学校について知る機会となり、また、他学部の学生やクラブ・同好会の先輩と交流できたことで安心感が生まれ、これからの学校生活に向けて期待が高まる一日になったようです。



新入生研修

平成30年4月14日



4月14日(土)に笠間キャンパス及び松任キャンパスにて新入生研修が行われました。午前の部では、充実した学生生活を送るための計画づくりや、白山警察署の方による交通安全や防犯についての講習を行いました。午後の部では3学部に分かれて、マナー講座、先輩との交流会、レクリエーション形式の研修等を行いました。それぞれの学部で行われた講座やレクリエーションを通じて、仲間と協力しながら学んでいく姿勢を互いに感じることができ、充実した一日になったようです。

クラブ・同好会代表者研修会

平成30年6月16日

6月16日(土)に、全クラブ・同好会の代表者を対象としたクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ・同好会担当職員からクラブ活動支援費申請や活動報告等の書類作成方法についての説明があり、その後学友会執行部会が中心となり、各クラブ・同好会の学生同士でレクリエーションや学内の清掃活動を行いました。レクリエーションを通じて、自然と話しやすい雰囲気生まれ、スポーツ系や文化系問わず交流することができました。今後の団体同士の交流や情報交換が活



発化していくことが期待できる一日になったようです。

平成30年度卒業研究発表会

医療健康学部・看護学部 平成30年10月6日
社会福祉学部 平成30年12月5日・翌年2月

10月6日(土)に、金城大学医療健康学部及び看護学部にて、卒業研究発表会が開催されました。理学療法学科と作業療法学科の2学科で開催し、看護学部は今年初めてとなります。2学部の学生は3年次よりゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する集大成の発表会です。

学生たちは、パワーポイントやポスターを用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表では伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えるように努力する様子も見られました。教員からの助言や在学生からの質問などがあり、活気に満ちた素晴らしい卒業研究発表会となりました。

卒業研究発表会では、優秀発表者の選出が始まり、優秀発表者は教員と学生の投票で選出され、卒業式で表彰される予定です。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。



(看護学部)



(医療健康学部)

第43回金城祭

平成30年10月20日・21日

今年度は、「Connecting みんなでつながる金城祭」をテーマに、第43回金城祭が10月20日(土)・21日(日)に開催されました。「ハジ↓」、「DJ UICHI」侍によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日とも多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができたようです。



トピックス

公開講座

毎年、短期大学部との共同事業として「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を実施しています。5月26日(土)から11月24日(土)にかけて行い、今年度は全20講座開催しました。本学が持っている教育資源だけでなく、外部講師による「白山学」や人気が高くなってきている「ボールウォーキング」体験講座などを行い、多くの地域の方々が聴講されました。なお、平成31年度も引き続き開催いたしますので、是非ご参加ください。

ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたアクティビティ活動として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」がそれぞれ実施されており、地域の方々からまたいへんご好評をいただいています。活動状況等の詳細については、大学ホームページに掲載されていますのでご覧ください。



北國健康生きがい支援事業

北國新聞社との共催事業として「北國健康生きがい支援事業」を実施しています。今年度は、10月27日(土)に「社会福祉講演会」として、社会

福祉学部・田中克恵教授による「よりよい最期を迎えるために―ご本人・ご家族にできること―」をテーマに開催しました。

第13回保健・医療・福祉創造フォーラム

11月24日(土)に第13回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「いのち輝く共生社会の実現をめざして」とし、佐々木則夫氏(十文字学園女子大学副学長(サッカー)日本女子代表前監督)による講演「目標達成のプロセス5つの提言」が行われました。



講演後にはシンポジウム「これからだの活性化と運動・スポーツ ―あなたらしく生き生きと暮らすために―」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

退任教職員のご案内

社会福祉学部の大友順治特任教授、平口真理特任教授、稲生圭伊子助教、医療健康学部の巽雅子准教授、看護学部の下田裕子講師、伊藤愛助手、廣田正美助手、大学院の奈良勲特任教授、事務職員西谷公作法人本部参与の9人が平成30年3月末で、看護学部の宮森浩菜助手が同年6月末で、看護学部の原元子准教授、中嶋渚助手、事務職員の大森隆経部長の3人が同年8月末で、社会福祉学部の平澤元章教授が同年9月末で退職されました。

同窓会 開催報告

下村ゼミ同窓会「卒業生真夏の祭典」

専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

金城大学下村ゼミ歴代卒業生によって懇親会を開催しました。卒業生同士で、仕事やプライベートなど近況を報告し、情報交換を行いました。また、学生時代の恩師である下村有子先生ともお話しし、学生時代の思い出を懐かしむと同時に各自リフレッシュしました。



今後とも年代を越えた卒業生同士で新しい視点を見出すとともに、様々な情報を共有し、充実した生活および社会の一員としての活躍を目指していきます。

同窓生生活活動報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同窓会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の様相を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

研究・教育活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月20日(土)・21日(日)の期間で実施された活動成果報告会(ポスター発表)の発表者は次の通りです。



- ① **一ノ山 隆司 教授**(看護学部)
・「テキストマイニングによる看護系大学の初年次教育の傾向分析」
- ② **神谷 晃央 准教授**(医療健康学部)
・「腰部への伸縮テープ貼付が体幹回旋可動域に与える影響」
- ③ **小島 聖 准教授**(医療健康学部)
・「マウス変形性膝関節症モデルに対する振動刺激が関節軟骨に及ぼす影響」
- ④ **小島 聖 准教授**(医療健康学部)
・「EFFECT OF CRYOTHERAPY ON MODEL RATS WITH OSTEO-ARTHRITIS OF THE KNEE
変形性膝関節症モデルラットに対する寒冷浴の影響」
- ⑤ **境 美砂子 助教**(看護学部)
・「看護系大学生の入学直後に認識する大学と高校の違いに関する内容分析」
- ⑥ **境 美砂子 助教**(看護学部)
・「看護系大学生の初年次教育におけるアクティブラーニングの認識」
- ⑦ **佐々木 賢太郎 教授**(医療健康学部)
・「二重課題下における歩間変動と固有感覚の関連性」
- ⑧ **澤 俊二 教授**(医療健康学部)
・「慢性脳血管障害者の総合的追跡調査 発病10年片麻痺手感覚・知覚機能の推移と改善例の特徴」
- ⑨ **中 磯子 教授**(社会福祉学部)
・「高齢者に対する親しみやすい音楽療法の心理的効果—野々市市高齢者サロンの高齢者の方々の経験から—」
- ⑩ **樋貝 繁香 教授**(看護学部)
・「早産児の退院直後から退院1ヵ月における両親の睡眠状況」
- ⑪ **福永 肇 教授**(社会福祉学部)
・「地域医療構想推進・地域包括ケア体制構築における『地域医療連携推進法人』を通じた医療提供の研究」

(五十音順)

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費(助成制度)です。平成30年度の採択・交付者は次の通りです。

【金城大学】

- ① **岩城 直子 教授**(看護学部)【研究代表者】
・「放射線療法中の乳がん患者へのPILテストを手がかりとした看護介入の活用可能性」
- ② **川邊 弘之 教授**(社会福祉学部)【研究代表者】
・「劣化した点字図書の復元システムの構築」
- ③ **越納 美和 助教**(看護学部)【研究代表者】
・「大学生と地域住民の多世代協働による『観光資源活用型健康増進プログラム』の開発」
- ④ **佐藤 香緒里 准教授**(医療健康学部)【研究代表者】
・「高齢者の転倒防止プログラム—歩き動作時の障害物と距離・位置関係に着目して」
- ⑤ **下村 有子 教授**(社会福祉学部)【研究代表者】
・「全盲学生のボランティアを支援する授業資料等の点字への翻訳システムの提案」
- ⑥ **田中 克恵 教授**(社会福祉学部)【研究代表者】
・「特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種チームケアプロセスモデルの開発」
- ⑦ **田淵 祥恵 講師**(看護学部)【研究代表者】
・「夜勤・交代制勤務の看護師に対する睡眠衛生教育プログラムの開発」
- ⑧ **中 磯子 教授**(社会福祉学部)【研究代表者】
・「歌唱を取り入れた二重課題の心理的負荷と認知機能におよぼす影響」
- ⑨ **永井 将太 教授**(医療健康学部)【研究代表者】
・「理学・作業療法士の臨床実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」
- ⑩ **彦 聖美 教授**(看護学部)【研究代表者】
・「男性介護者のソーシャル・キャピタルの特徴を踏まえた健康支援のあり方に関する研究」
- ⑪ **柳原 真知子 教授**(看護学部)【研究代表者】
・「女性冷え性の東洋医学的所見と生体指標との関連及び冷え性ケアの効果検証の研究」

(五十音順)

【金城大学短期大学部】

- ① **新井 浩 准教授**(美術学科)【研究代表者】
・「環境音の可視化による聴覚障害者支援—マンガ表現を用いた臨場感フォントによる支援—」

卒業後の証明書交付について

卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料/1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に免許種類を明記のこと)

*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位を修得したことを証明するものです。
*左記以外のものは申し込み前に、教学支援部までお問い合わせください。
(*1)社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

申し込みについて

原則として、申し込みは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

下記のことを大学事務局「申し込み先」宛に送付してください。

- 1 証明書手数料分の切手。
- 2 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号)。
*定形外郵便料金+簡易書留分310円、郵送料分切手を貼付け済み。
速達希望ならば+280円。
- 3 右記「記入必要事項」を記載した便箋等。

b) 窓口の場合

窓口で証明書の申請、または、受取る場合は名前と生年月日が分かる身分証明書(運転免許証・健康保険証等)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入の上、代金をあわせてお支払いください。身分証明書を提示できない方からの申請は受け付けることが出来ません。

「記入必要事項」

- 1.氏名・生年月日
- 2.入学及び卒業の年月
- 3.学籍番号(わかれば記載願います。)
- 4.請求証明書名と必要部数
- 5.提出先(必要部数毎に明記してください。)
- 6.必要理由(理由によって様式が異なる場合があります。)
- 7.連絡先(昼間連絡可能な電話番号。)

「申し込み先」

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200
金城大学 教学支援部 Tel:076-225-3446(直通)

*a)記載事項に不備のあるものについては、受け付けることが出来ませんので、ご了承ください。

受取りについて

受け取りは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

郵便での申込の際は必ず、返信用封筒に定形外封筒を使用し、右記のとおり定形外郵便料金と簡易書留分(310円分)の切手を返信用封筒に貼付してください。

例:証明書3通までの場合、返信用封筒には定形外郵便料金120円と簡易書留料金310円分の切手、合計430円分の切手を貼ってください。

原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内(日・祝日を除く)に発送します。

また、お急ぎの場合は往復とも速達(+280円)にしてください。

b) 窓口の場合

直接取りに来られる場合には、発行を確認の上、来学してください。なお、その場合は身分証明書(運転免許証・健康保険証等)を必ず持参してください。代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

「返信用定形外封筒の郵送料金(参考)」

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+310円)	速達郵便 (+280円)
証明書3通まで	430円	710円
証明書5通まで	450円	730円
証明書7通まで	515円	795円

*上記料金は2014.4.1以降のものです。

*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。

不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

注意事項

- 原則作成までに3日(日・祝日を除く)かかりますので、できるだけ余裕を持ってお申し込みください。
- 原則到着後3日(日・祝日を除く)で発送します。お急ぎの場合は、申し込み・返信用と速達分の切手を貼ってお送りください。
- 電話やFAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。
- 進学の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓名で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

卒業生の施設利用



図書館

卒業生も図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館(直通:076-276-4412)までご連絡ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間についての詳細はホームページをご確認ください。

小講義室・演習室等

卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第12号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。

同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。

住所等が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。

ただ、交流パーティーへの参加を呼びかけていただくため、役員に同期の方の連絡先をお伝えすることがありますので、ご了承ください。

今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル 0120-276-150

TEL 076-276-5175(直通)

FAX 076-275-4316

E-mail nyushi@kinjo.ac.jp

金城大学同窓会 会報誌 第12号 平成30年12月20日発行 編集兼発行：金城大学同窓会事務局

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL.076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL> <http://www.kinjo.ac.jp/ku/> <E-mail> u-dosokai@kinjo.ac.jp